



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第76回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第77回全国研究発表大会が2026年11月28日（土）、29日（日）に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開催日：2026年11月28日（土）、29日（日）

主催校：大阪工業大学 枚方キャンパス 〒573-0196 大阪府枚方市北山1丁目79-1

交通アクセス <https://www.oit.ac.jp/oit/access/#id03>

開催形式：対面での実施

連絡先：大会実行委員長 大阪工業大学 江口 翔一 E-mail: shoichi.eguchi@oit.ac.jp

主催：日本経営システム学会

共催：大阪工業大学情報科学部

統一論題：「情報科学と経営システム」

基調講演：貝原 俊也 氏（大阪工業大学 情報科学部 教授）

※基調講演は大阪工業大学情報科学部の開設30周年記念事業となります。

参加費：会員5,000円、学生会員3,000円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員6,000円、非会員学生4,000円（当日支払は各1,000円高）

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。

懇親会費：会員5,000円、学生会員3,000円、協賛学会員5,000円、非会員6,000円

（当日支払各1,000円高）。準備の関係上、事前申し込みをお願いします。

昼食：両日とも学食の営業はありません。近くのコンビニをご利用ください。

宿泊：大阪駅、京橋駅、枚方市駅、樟葉駅のホテルが便利です。お早めのご予約をお勧めします。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail: keieisys@jams-web.jp へ、9月25日（金）までに送信してください。本JAMS NEWSの発表申込書を学会事務局宛 Fax.03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdfおよびword入稿または郵送にて、10月30日（金）まで（厳守）、学会事務局宛または第77回大会発表原稿入稿フォームからご投稿ください。

参加申込：次号JAMS NEWSに同封の振込用紙またはHPの振込方法を参考に11月20日（金）までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

■大会会場へのアクセス

大阪工業大学 枚方キャンパス：樟葉駅（京阪本線）と長尾駅（JR 学研都市線）からバスが出ていますが、樟葉駅の方がバスの本数が多くなっています。

樟葉駅・京阪バス 大2・大2A系統 ポエムノール北山行（大阪工大下車）4番乗り場

・京阪バス 1・2系統 ポエムノール北山行（北山中央下車）4番乗り場

長尾駅・京阪バス 27系統 摂南大学枚方キャンパス行（北山中央下車）1番乗り場

・京阪バス 29・37系統 摂南大学枚方キャンパス行（大阪工大下車）1番乗り場

・京阪バス 直通 北山中央行、北山中央・摂南大学枚方キャンパス行（北山中央下車）1番乗り場



■会場設備について

発表会場の PC の準備はございません。各自 PC をご持参ください。なお、発表会場にあるプロジェクトとの接続ケーブルは、HDMI のみとなります。もし HDMI 接続端子が装備されていない PC をお持ちの方は、HDMI 変換アダプタもご持参ください。

■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」(学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuhappyou.pdf>) に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とします。

第 76 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 東京都市大学 岡田 公治

第 76 回全国研究発表大会は、2026 年 5 月 23 日（土）、24 日（日）の両日、東京都市大 横浜キャンパスで開催されました。

統一論題を「社会イノベーションと経営システム」とし、基調講演は「社会イノベーションと経営システム」と題して、日立製作所 船木謙一様（日本経営工学会 学会長）にご講演をいただきました。研究の発表は 69 件（一般発表 29 件、学生発表 37 件、研究部会発表 3 件）、参加者は 161 名と多くの方々にご参加いただき、活発な議論が繰り広げられました。また、懇親会には 55 名のご参加があり、盛大に開催することができました。

大会開催に際しては、前会長の椎原正次先生、現会長の金子勝一先生をはじめ理事の先生方、事務局の皆様、発表・司会をお引き受け下さった会員の皆様に多大なご協力を賜り誠にありがとうございました。

無事開催することができましたことに、心より御礼申し上げます。

学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 深澤 琢也

第 76 回全国研究発表大会（会場：東京都市大 横浜キャンパス）終了後、表彰委員会において、厳正かつ慎重に受賞候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記 3 名が学生研究発表優秀賞の受賞者に決定しましたので報告いたします。

「次世代創薬技術が医薬品供給構造と医療アクセスに与える影響」

佐野典康（日本工業大学）

「広告炎上リスクの予防的マネジメントに関する研究」

古村直輝（立命館大学）

「相談スティグマとキャリア相談の有用性の関係－性別と年代の違いに着目した探索的検討－」

大澤博明（法政大学）

中部支部総会・講演会のご案内

本年も中部支部総会、および特別講演会を開催いたします。今回は【対面およびZoomのハイブリッド開催】とさせていただきます。ご多忙の折とは存じますが、ふるってご参加を賜りたく存じます。なお、特別講演会については、公開講座としますので非会員の方もご参加頂けます。総会は会員のみとなります。

日時: 2026年9月11日(金) 15時30分～17時00分

場所: 豊橋創造大学 A棟A24教室およびZoom ※ハイブリッド開催

〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下20-1

・豊橋駅前5番乗り場より豊鉄バス豊橋和田辻線乗車(所要時間15分・片道280円)

※二川線には乗らないでください。

・東名高速道路豊川インターチェンジより車で15分。

交通アクセス <https://www.sozo.ac.jp/access>

参加費: 無料(懇親会参加者のみ当日5000円程度を予定)

出欠登録(参加登録)のお願い:

学会会員の方は参加・不参加にかかわらず以下のURLからご登録をお願いします。フォーム内で、対面参加・遠隔参加、会員・非会員等を選択下さい。登録締め切りは2026年9月8日(火)17時です。

<https://forms.gle/sud6NvWJpgDAkvXS8>

上記Googleフォームをご利用できない方は、h-yamada@sozo.ac.jpまで参加者名等をご連絡下さい。

遠隔参加の方: Zoom リンク

<https://us06web.zoom.us/j/85074481891?pwd=TLsB92EbbgbiHmbKGabZiR8ZKqzlUy.1>

ミーティングID: 850 7448 1891 パスコード: 199849

スケジュール:

15:30-15:35 開会の挨拶

15:35-16:35 特別講演【公開講座 非会員も参加可】

継続的な行動改善に向けた運転振り返りロボットシステム-人に受け入れられる支援設計-

中京大学 工学部 機械システム工学科 教授 加納政芳先生

16:35-16:45 質疑応答

16:45-17:00 中部支部総会【経営システム学会 会員のみ】

18:00- 懇親会(豊橋駅前を予定しています。)

特別講演概要: 交通事故の防止には、運転者が自身の運転行動を振り返り、改善点を継続的に認識することが重要である。一方、振り返りを実際の行動改善につなげるためには、運転情報を提示するだけでなく、運転者が受け入れやすい方法で支援する必要がある。

本講演では、継続的な行動改善を支援する運転振り返りロボットシステムについて紹介する。本システムは、運転状況を可視化し、ロボットとの対話を通じて運転者の振り返りを促すものである。

また、学習支援ロボットに関する研究で得られた知見を踏まえ、運転者の理解度や振り返りの状況に応じて支援方法を変化させる仕組みについて考察する。これらを通して、運転状況を把握・提示する技術と、人に受け入れられる対話的な支援設計を統合することの重要性について議論する。

メールでご欠席連絡をされる場合: 大変お手数ですが、メールでの出欠連絡に合わせて委任状を添付してご提出ください。ご不明な点、また今後会合のお知らせを希望されない方は下記までご連絡ください。

中部支部 事務局 山田 洋巳(豊橋創造大学) h-yamada@sozo.ac.jp

中部支部 Web ページ: <https://www.jams-web.jp/information/centralarea2026.html>

経営ネットワーク研究部会のお知らせ

経営ネットワーク研究部会 2026 年度 第 1 回研究部会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時: 2026年8月28日(金) 13:00～19:00

開催場所: 東北大学 青葉山キャンパス 総合研究棟 306 室

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11

アクセスマップ <https://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=c&build=10>

発表予定者：

13:00～13:40 (1) 東北大学大学院 櫻井創太

「人口減少下における公共交通ネットワークの縮小—東北地方を対象としたアクセシビリティ、脆弱性および中心性に基づく路線保護のシナリオ評価—」

13:40～14:20 (2) 東北大学大学院 堀 圭一

「新たな広域交通ネットワークの構築に向けた戦略—シナリオ・プランニングとシステム・ダイナミクスの融合—」

14:20～15:00 (3) 東北大学大学院 荒木 亘 「統計断絶下における重要鉱物需要の可観測性」

15:00～15:10 休憩

15:10～15:50 (4) 東北学院大学 小茄子川智弘

「政令指定都市の上下水道事業における DX 推進の動向」

15:50～16:30 (5) 横浜市立大学 藤崎晴彦

“Comprehensive Planning in Japanese Designated Cities: Soft Constraint, Plan Structures, and Heuristic Quality Review in Comparative Perspective”

16:30～16:40 休憩

16:40～17:20 (6) 駒沢大学 杉西優一

「大規模言語モデルを用いたシミュレーションシナリオ生成フレームワークの検討」

17:20～18:00 (7) 千葉商科大学 仲野友樹

「地方自治体の情報システムにおけるクラウド活用政策に対するプロセストレーシング分析」

18:10～18:20 休憩

18:20～19:00 (8) 全体討議

問い合わせ先：ご参加の際は、仲野までご連絡いただけますと幸いです。

経営ネットワーク研究部会幹事/千葉商科大学 仲野友樹 nakano@cuc.ac.jp

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/sectmn2026.html>

ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

ヒューマンリソース（HR）研究部会 2026 年度第 3 回研究部会（第 162 回）を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2026 年 9 月 5 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式：

<https://nihon-u-ac-jp.zoom.us/j/97942965559?pwd=tS4eINpQFbu0wrQtLj4bN3oSnsboTy.1>

ミーティング ID: 979 4296 5559 パスコード: 372072

発表予定者：調整中です。

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） E-Mail:shoichi@xf6.so-net.ne.jp

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/secthr2026.html>

ニューノーマル研究部会のお知らせ

ニューノーマル研究部会 2026 年度第 3 回会合（通算第 46 回）（政策分科会）

開催日時：2026 年 9 月 8 日（火曜日） 18:30-20:00

開催方法：ハイブリッド開催（対面開催会場：東京国際工科専門職大学）

講演タイトル：「地政学と日本の大戦略」

講師：宮家邦彦（みやけ・くにひこ）キャノングローバル戦略研究所理事・特別顧問

講演内容：「賢者は歴史から学ぶ」という格言が真実なら、新たなパワーシフトが起きつつある現在こそ、歴史から国際情勢を如何に学ぶかについて考える必要がある。現下の国際情勢を「地政学、力の真空、一神教」といった視点から再考し、今後の国際情勢を占うために必要な「頭の体操」を行う。

講師略歴：東大法卒、78年外務省入省後、大臣秘書官、在米国大使館一等書記官、中近東第二課長、中近東第一課長、日米安全保障条約課長、在中国大使館公使、在イラク大使館公使、イラク CPA（連合国暫定当局）出向、中東アフリカ局参事官を経て05年8月外務省退職、外交政策研究所代表に就任。菅・岸田内閣で外交担当内閣官房参与。現在、立命館大学客員教授、キャノングローバル戦略研究所理事・特別顧問。

参加方法：以下の URL から出席可否の登録をお願いします。ご登録締め切りは2026年2026年9月4日17時です。<https://forms.gle/pYWfGwq6XhEa3oBy9>

オンライン参加のご登録者には後ほど ZOOM 招待状を送付させていただきます。

対面参加のご登録者には後ほど会場の詳細情報をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。また今後会合のお知らせを希望されない方は下記までご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

上條浩一・東京国際工科専門職大学教授 kkamijoh@gmail.com

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/sectnn2026.html>

経営モデル研究部会のお知らせ

経営モデル研究部会 2026 年度第 3 回研究部会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2026 年 11 月 7 日（土） 15:00-17:00

開催場所：Zoom によるオンライン会議形式

発表予定者：調整中です。

連絡先：田畑 智章（東海大学） E-Mail: tabata@tokai-u.jp

〃：金子 勝一（山梨学院大学） E-Mail: shoichi@xf6.so-net.ne.jp

研究部会 Web ページ <http://www.jams-web.jp/information/sectmm2026.html>

入会者リスト

(2026. 3. 18～2026. 4. 21)

1. 正会員入会希望者

氏 名	所 属	氏 名	所 属
類瀬 修	日本ヒューレット・パッカード合同会社	大原 広紀	(合)サポーテスト
森永 英二	大阪公立大学	吉岡 順次	(株)ビジクル
野村 光	東北大学	佐藤 充紀	上田短期大学
西之坊 穂	立命館大学	保井 俊之	武蔵野大学
桑原 博一	(株)加島屋	王地 裕介	大阪大谷大学

2. 学生会員から正会員へ種別変更

氏 名	所 属	氏 名	所 属
梶原 宣幸			

3. 学生会員入会希望者

氏 名	所 属	氏 名	所 属
高村 啓輝	東洋大学大学院	鋤柄 卓也	東洋大学大学院
王 伊晗	立命館大学大学院	石井 隼人	神奈川大学大学院
笹島 颯太郎	神奈川大学大学院	白井 翔	東京大学
村上 草太	立命館大学大学院	鈴木 竣晴	東京大学
宇山 伸之	東洋大学大学院	齋藤 心冴	東海大学大学院
橋本 武仁	立命館大学大学院	田中 遥菜	摂南大学
大澤 博明	法政大学大学院	及川 順子	立命館大学大学院
佐久間 貴章	関西大学大学院	福沢 竜平	東海大学大学院
櫻井 創太	東北大学大学院	内田 亮	東北大学大学院
井川 玄	東北大学大学院		

日本経営システム学会 研究発表申込書

2026 年度 第 77 回全国研究発表大会

発表種類（研究、部会）（発表種類のいずれかを○でお囲み下さい）

発表セッション区分（一般セッション、学生セッション）（区分のいずれかを○でお囲み下さい）

口頭発表者会員種別（正会員、学生会員）（会員種別のいずれかを○でお囲み下さい）

☐ 会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所（勤務先・自宅）	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

☐ 論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名（所属）	1. ()	2. ()
当日の口頭発表者には*を付す	3. ()	4. ()
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)	代表者名: ()	

☐ 発表要旨（200 字以内・ワープロプリント貼付可）

キーワード (必ず記入)					

注：1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。

2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。（ワープロプリント貼付可）

3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
E-Mail: keieisys@jams-web.jp